

特許等ライセンスに関する「ソフトロー」実態調査  
アンケート回答結果

東京大学大学院 法学政治学研究科  
COE プログラム・知的財産権ソフトロー収集班

2004 年 3 月

## 特許等ライセンスに関する「ソフトロー」実態調査 アンケート回答結果

東京大学大学院 法学政治学研究科  
COE プログラム・知的財産権ソフトロー収集班

東京大学 21 世紀 COE プログラム「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」情報財（知的財産）部門では、「ソフトロー」として実際にどのようなものが存在するのかを分析するため、平成 15 年度の研究活動として、特許等ライセンスに焦点を絞り、企業にインタビューを行うことを計画した。

インタビューに先立ち、インタビューを効果的に進めるためにも、一定の傾向をつかむ必要があることから、電機・機械等メーカー 163 社を対象に、郵送によるアンケート調査を実施した。本レポートは、そのアンケート調査の回答結果をまとめたものである。

### 【概要】

対象企業：「電機」「機械」の業種に分類されるメーカーの中から、東証一部等上場企業を中心に 163 社を抽出した。

実施期間：平成 16 年 1 月末に郵送し、回答期間を 2 月 16 日（月）までとした。（期日後到着分も結果に算入）

回答企業数：45 社（3 月 29 日現在、回答率 27.6%）

以下の回答結果におけるパーセント表示は、回答対象企業数に対する比率である。

一部回答の無い場合や、複数回答としていない設問に対して複数の回答があった場合もあるため、回答数の合計が回答対象企業数に一致しない設問もある。

このアンケート結果そのものも、ソフトロー研究の材料として、大きな意味を持つものである。ご協力いただいた企業の皆様には、この場を借りてお礼申し上げたい。

1 特許権等のライセンス契約に関する実態についておうかがいします。

【問 1-1】 御社は、自社が取得した特許権・実用新案権・意匠権を活用し、あるいは他社が保有するこれらの権利を利用するために、どのような対応を行っていますか。該当する項目すべてを選択してください。

- 1：他社に対し自社の権利を実施許諾し、あるいは他社から実施許諾を受けるためのライセンス契約を結んでいる ...41 (91.1%)
- 2：他社と相互に権利を実施許諾する契約（クロスライセンス契約）を結んでいる ...29 (64.4%)
- 3：いわゆるパテントプール等を通じて、複数の他会社と権利を相互利用している ...8 (17.8%)
- 4：ライセンス契約は用いず権利の譲渡ないし自社実施のみで対応している...9(20.0%)
- 5：その他〔具体的に〕 ...1 (2.2%)

海外現地法人へのライセンス  
原則 4、侵害対応 1・2

問 1-2-1～1-2-2 は、問 1-1 で「1」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：41 社

【問 1-2-1】 御社で、このようなライセンス契約が用いられる製品ないし技術分野として、主なものを 3 つ回答欄にご記入ください。

各社それぞれ事業領域に対応した製品を回答

【問 1-2-2】 このようなライセンス契約を結ぶにあたって、一般的にはどのようにして交渉（ファーストドラフトの起草、契約条件の提示等）が進められているのでしょうか。

- 1：権利者の側が主導して交渉が進められる ...29 (70.7%)
- 2：権利の実施許諾を受ける側が主導して交渉が進められる ...4 (9.8%)
- 3：企業規模、業界における力関係等を背景として交渉が進められる ...8 (19.5%)
- 4：その他〔具体的に〕 ...3 (7.3%)

ケースバイケース（4） クレームの場合は 1・申込の場合は 2

問 1-3-1～1-3-3 は、問 1-1 で「2」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：29 社

【問 1-3-1】 御社で、クロスライセンス契約が用いられる製品ないし技術分野として、主なものを 3 つご記入ください。

各社それぞれ事業領域に対応した製品を回答

【問 1-3-2】 御社において、一本のクロスライセンス契約の対象とされる権利の範囲はどのレベルで画されていますか。

- 1：特定の技術に関する権利のみが一本の契約の対象とされている ...11 (37.9%)
- 2：特定の製品に関する権利はすべて一本の契約の対象に含まれている ...13 (44.8%)
- 3：個々の技術、製品とは関係なく、双方が必要とする権利はすべて一本の契約の対象として含まれている ...6 (20.7%)
- 4：その他〔具体的に〕 ...8 (27.6%)

ケースバイケース(4) 特定技術・特定製品両方ある(1)  
当事者の共通事業範囲(1) 特許番号と製品名を特定する(1)

【問 1-3-3】 クロスライセンス契約を結ぶにあたり、一般的にはどのようにして交渉(ファーストドラフトの起草、契約条件の提示等)が進められているのでしょうか。

- 1：先行して技術開発・製品開発を行った当事者が主導して交渉が進められる ...5 (17.2%)
- 2：製品開発にあたって必須な権利を保有する当事者が主導して交渉が進められる ...11 (37.9%)
- 3：企業規模、業界における力関係等を背景として交渉が進められる ...6 (20.7%)
- 4：その他〔具体的に〕 ...6 (20.7%)

ケースバイケース(3) 契約したい側が主導権をとるべく行動(1)  
双方の侵害発見を導入材料に(1) 特許紛争解決策の一つとして利用(1)

問 1-4-1~1-4-4 は、問 1-1 で「1」あるいは「2」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：41社

【問 1-4-1】 個々の権利あるいは複数の権利を対象としたライセンス契約、ないしクロスライセンス契約において、具体的なロイヤリティの額はどのようにして決定されていますか。

該当する項目をすべて選んでください。

- 1：業界における従来のお取扱い、慣行に従って決定している ...31 (75.6%)
- 2：公的なガイドラインに則って決定している ...4 (9.8%)
- 3：第三者機関等の客観的な価値評価に従って決定している ...0
- 4：その他〔具体的に〕 ...13 (31.7%)

当事者間での交渉・相手方との関係等(7) 利益率を勘案(2)  
業界標準・業界動向(2) 三分説・四分説(1) 特許の価値による(1)  
権利者の提示額を始点に減額交渉(1)

【問 1-4-2】 個々の権利あるいは複数の権利を対象としたライセンス契約、ないしクロスライセンス契約において、ロイヤリティの支払いはどのような方法によって行われていますか。

該当する項目をすべて選んでください。

また、それぞれの方法を選択されている理由についても合わせてご記入ください。

1：契約終了時まで、単位期間（年・月）ごとに定率ないし定額のロイヤリティを支払い続ける ...34（82.9%）

2：単位期間（年・月）ごとに定率ないし定額のロイヤリティを支払うが、一定期間経過後にロイヤリティ額の見直しを行う ...17（41.5%）

3：あらかじめまとまった額のロイヤリティを支払うことによって契約終了時までの実施権を確保する ...20（48.8%）

4：あらかじめまとまった額のロイヤリティを支払い、使用実績等の必要に応じて追加的なロイヤリティをさらに支払う ...16（39.0%）

5：その他〔具体的に〕 ...5（12.2%）

ケースバイケース（5） 慣例（1） 実績に合わせて定率（1）  
相互無償（1）

<理由>

交渉等による、経理処理上容易、もっとも合理的  
実施高に応じた定額・定率の継続払は双方納得しやすい  
売上高・利益は変動、各社の事情、ライセンスポリシー  
単位期間にロイヤリティを支払う実績があるとは限らない、将来の販売見込み  
1・2は当然の選択であり、4は原則拒否する。  
相互無償ライセンスは両者の特許ポジションが等しい場合に行う。

【問 1-4-3】 問 1-4-2 で「1」ないし「2」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：38社

ロイヤリティの支払いを行う一般的な単位期間はどのくらいですか。

また、「2：一定期間後に見直す」とお答えになった方は、これらの契約の平均的な存続期間及びロイヤリティ見直しを行う時期（契約開始時からの経過年数）についても合わせてご記入ください。

単位期間：最短3ヶ月、最長10年、権利満了まで、決算期にあわせる  
3ヶ月（6）、6ヶ月（16）、1年（13）、3～5年（5）、10年（1）、権利満了（3）

<見直す場合> 存続期間：5～10年 or 権利満了まで  
見直し時期：3～5年経過後、適時、契約更改時

【問 1-4-4】 差し障りがなければ、御社がライセンス契約を用いている製品ないし技術分野のうち、主なもの3つについて平均的なロイヤリティの額・率をお教えてください。

(例) 5～6%

略

問 1-5-1～1-5-6 は、問 1-1 で「1」あるいは「2」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：41社

【問 1-5-1】 御社が、個々の権利あるいは複数の権利を対象としたライセンス契約、ないしクロスライセンス契約を結ぼうとする過程において、交渉が成立せず契約が締結できなかった事例は過去にありますか。また、その場合の原因としてもっとも多いものは何ですか。

- 1：なし ...16 (39.0%)
- 2：たまにある ...23 (56.1%)
- 3：頻繁にある ...1 (2.4%)

<原因> 「2：たまにある」「3：頻繁にある」の場合 回答対象：24社

- 1：ロイヤリティの額・率について相手方と折り合わなかった ...20 (83.3%)
- 2：ロイヤリティの額・率以外の契約条件について相手方と折り合わなかった ...9 (37.5%)
- 3：交渉中に対象とする特許が無効となる等、契約対象となるべき権利が価値を失った ...4 (16.7%)
- 4：自社で開発していた独自の技術が特許を取得する等、ライセンスを受ける必要性が失われた ...2 (8.3%)

【問 1-5-2】 御社が用いている特許権等のライセンス契約において、対象となる権利が第三者による無効審判請求等によって無効となった場合に、実施許諾を受けている側の当事者の損害等を保証するための契約条項（いわゆる「特許保証条項」）はあらかじめ設けられていますか。

そのような条項が存在する場合、その内容（具体的にどのような保証が行われるか）についても合わせてご記入ください。

- 1：ない ...33 (80.5%)
  - 2：原則としてそのような条項は設けないが、特許等の有効性に疑義がある場合には設けることがある ...2 (4.9%)
  - 3：一般的にそのような条項が設けられている ...3 (7.3%)
- (その他：ケースバイケース ...1)

<内容> 「2：設けることがある」または「3：一般的に設けている」の場合

特許無効の時点で契約無効、疑義が生じたら話し合い  
金銭の支払いはないが、以後のライセンスは当然自由実施可

【問 1-5-3】 御社が用いている特許権等のライセンス契約において、対象となる権利の有効性について当事者間で争わないとする契約条項（いわゆる「不争条項」）はあらかじめ設けられていますか。

そのような条項が存在する場合、その内容についても合わせてご記入ください。

- 1：ない ...17 (41.5%)
  - 2：一般的にそのような条項が設けられている ...21 (51.2%)
  - 3：一般的にそのような条項が設けられているが、特許等の有効性に疑義がある場合には設けないことがある ...1 (2.4%)
- (その他：ケースバイケース ...1)

<内容> 「2：一般的に設けている」または「3：設けないことがある」の場合

契約解除 (5) 無効審判の請求 (1) 許諾特許から除外 (2)

ガイドラインで設けることとなっている (1)

Non assertion of patent (1)

ライセンサーは有効性保証せず・ライセンシーは権利無効化をはからない (1)

「独禁法の灰色条項に該当する」「独禁法違反の疑い強い」旨のコメント (計2件) あり。

【問 1-5-4】 第三者が御社の保有する特許権等の範囲に含まれる技術ないし製品をあらかじめ開発・生産していた場合(あるいは御社が第三者の保有する特許権等の範囲に含まれる技術ないし製品をあらかじめ開発・生産していた場合)に、事後的にライセンス契約を結ぶことによって対応したことはありますか。

またその場合、過去に使用していた分のロイヤリティの支払いについては、どのように契約に反映されていますか。

- 1：そのような対応を行ったことはない ...9 (22.0%)
  - 2：原則として無効審判・侵害訴訟等によって対応するが、ライセンス契約によって対応することもある ...7 (17.1%)
  - 3：原則としてライセンス契約によって対応する ...26 (63.4%)
- (その他：該当選択肢なし ...1)

<過去使用分のロイヤリティ> 「2」または「3」の場合

回答対象：30社

- 1：過去の使用分のロイヤリティについては一般的に請求しない ...2 (6.7%)
- 2：契約開始時に一時金の形式で支払うように定める ...26 (86.7%)
- 3：契約中のロイヤリティの額・率を標準的なものより高めに設定する ...2 (6.7%)
- 4：その他〔具体的に〕 ...3 (10.0%)

案件による (2) 将来分高めにする (1) 分割 (1)

トータルに考えて必要な対応をとる (1)

立場・権利の強弱等を総合勘案 (1)

【問 1-5-5】 個々の権利あるいは複数の権利を対象としたライセンス契約、ないしクロスライセンス契約の契約期間中に、当事者の一方が契約内容に違反したとして、契約を解除したり(あるいは解除されたり) 契約の履行を求めて争ったことはありますか。

またその場合に具体的に問題となった原因は何ですか。

1：ない ...32 (78.0%)

2：ある ...7 (17.0%)

<原因> 「2：ある」の場合 複数選択可 回答対象：7社

1：ロイヤリティの未払い、支払遅延 ...5 (71.4%)

2：契約で定められた範囲を逸脱した権利の使用が行われた ...3 (42.9%)

3：対象となる権利に瑕疵（無効理由等）があった ...1 (14.3%)

4：当事者の一方が不爭義務に違反した ...0

5：その他〔具体的に〕 ...1 (14.3%)

企業分割・合併等

【問 1-5-6】 問 1-5-5 で「2：ある」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：7社

このような争いが生じた場合において、御社では一般的にどのような対応をとられていますか。  
また、そのような対応については、あらかじめ契約に盛り込まれていますか。

<対応>

1：当事者間の私的な交渉に全面的に委ねる ...4 (57.1%)

2：訴訟によって裁判所の判断を仰ぐ ...1 (14.3%)

3：仲裁機関等を活用し、裁判外での紛争処理を図る ...0

4：その他〔具体的に〕 ...2 (28.6%)

選択肢 1・2・3 全て (1)

まず交渉による解決を図り、だめなら裁判所等 (1)

<契約条項>

1：契約において特段の定めは設けられていない ...0

2：契約において問題が発生した場合には誠実に協議する等の条項（誠実協議条項）を設けている ...5 (71.4%)

3：契約において訴訟提起時の手続（裁判管轄、費用負担等）、仲裁機関の指定等を行う条項が設けられている ...7 (100.0%)

問 1-6 は、問 1-1 で「3」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：8社

【問 1-6】 御社が、複数の他会社との間で、特許権等の権利を相互に利用するために、どのような方法を用いていますか。該当する項目をすべて選んでください。

1：ライセンス管理会社を通じた、いわゆる「パテントプール方式」による相互ライセンス契約あるいはサブライセンス契約を結んでいる ...8 (100.0%)

2：ライセンス管理会社等を経由することなく、複数会社間で同一のライセンス契約あるいはクロスライセンス契約を結ぶことによって相互利用を図っている ...5 (62.5%)

3：その他〔具体的に〕 ...0

問 1-7-1～1-7-3 は、上記問 1-6 で「1」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：8社

【問 1-7-1】 御社が、いわゆるパテントプールを通じて権利を利用している製品ないし技術分野として、主なものを3つご記入ください。

MPEG- 、 MPEG- 、 MPEG-LA、 画像圧縮技術、 DVD  
コジェネ（環境ビジネス）

【問 1-7-2】 御社が、パテントプールを通じて上記のような製品ないし技術分野の権利を利用する理由は何ですか。

該当する項目をすべて選んでください。

- 1：それが当該分野の標準化された技術の中核となっているため ...8（100%）
- 2：それが従来からのライセンス取引関係の延長として形成されたものであるため ...2（25.0%）
- 3：契約コストを削減するため ...4（50.0%）
- 4：その他〔具体的に〕 ...1（12.5%）

広い範囲の中で多数のライセンシーから特許権を集めることができ、自社も多数のライセンサーに一括して支払うことができるため（ワンストップショッピング）

【問 1-7-3】 パテントプールを通じた権利の利用をめぐる争いが生じた事例はありますか。差し障りがなければ、その具体的な内容についてもお教えてください。

- 1：ない ...7（87.5%）
- 2：ある ...1（12.5%）

<具体的な内容> 「2：ある」の場合

パテントプール機構からのライセンス料支払い要求に対する抵抗の一環として、特許権自体の無効を提訴してきた。

2 営業秘密・ノウハウ等の公開されていない情報のライセンス契約に関する実態についてお  
うかがいします。

【問 2-1】 御社では、営業秘密・ノウハウ等の公開されていない技術情報に関して、他社に  
実施を許諾したり、あるいは実施許諾を受けたりしていますか。また、その場合には、どのよう  
な方法によってそれを行っていますか。

- 1：営業秘密・ノウハウ等のみを対象としたライセンス契約ないしクロスライセンス契  
約を結んでいる ...16 (35.6%)
- 2：特許権等と合わせてライセンス契約ないしクロスライセンス契約を結んでいる  
...24 (53.3%)
- 3：営業秘密・ノウハウ等はライセンス契約の対象とはしていない ...16 (35.6%)

問 2-2-1～2-2-4 は、問 2-1 で「1」あるいは「2」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：31 社

【問 2-2-1】 営業秘密・ノウハウ等に関するライセンス契約を結ぶ場合、契約の対象となる  
情報の内容は、契約交渉のどの段階で開示されるのが一般的ですか。

また、契約開始以前に情報内容を開示する場合、契約開始時までの当該情報の秘密性を担保す  
るために、どのような対策が講じられていますか。

- 1：契約交渉の初期の段階で開示される ...2 (6.5%)
- 2：契約交渉がある程度まとまった段階で開示される ...9 (29.0%)
- 3：契約開始時まですべての内容は開示されない ...11 (35.5%)
- 4：その他〔具体的に〕 ...6 (19.4%)

必要に応じて開示 (1) 関係会社以外に開示せず (1)  
相手方が技術の利用価値・対価を判断できる程度に絞って一部開示 (1)  
共同開発時に開示された情報につきライセンスを受ける (1)

< 開示する場合、秘密性を担保するための方法 >

守秘義務・秘密保持契約 (10) K/H ブックによる特定 (1)

【問 2-2-2】 営業秘密・ノウハウ等のライセンス契約において、具体的なロイヤリティの額  
はどのようにして決定されていますか。

また、特許権等のライセンス契約におけるロイヤリティを決定する場合と比較して、情報の価  
値はどのように評価される傾向にありますか。

<ロイヤリティ額の決定> 複数選択可

- 1：業界における従来の取扱い、慣行に従って決定している ...18 (58.1%)
- 2：公的なガイドラインに則って決定している ...0
- 3：第三者機関等の客観的な価値評価に従って決定している ...0
- 4：その他〔具体的に〕 ...10 (32.3%)

交渉・個別算定(6)

共同開発時に開示することが多くロイヤリティを求めないことが多い(1)

権利者提示額を始点に減額交渉(1)

<情報の価値評価>

- 1：高く評価される傾向にある ...6 (19.4%)
- 2：低く評価される傾向にある ...3 (9.7%)
- 3：どちらともいえない ...18 (58.1%)

【問 2-2-3】 営業秘密・ノウハウ等のライセンス契約の契約期間中に、当事者の一方が契約内容に違反したとして、契約を解除したり(あるいは解除されたり)、契約の履行を求めて争ったことはありますか。

またその場合に具体的に問題となった原因は何ですか。

- 1：ない ...22 (71.0%)
- 2：ある ...4 (12.9%)

<原因> 「2：ある」の場合 複数回答可 回答対象：4社

- 1：ロイヤリティの未払い、支払遅延 ...2 (50.0%)
- 2：契約で定められた範囲を逸脱した情報の使用が行われた ...3 (75.0%)
- 3：対象となる情報に瑕疵があった ...1 (25.0%)
- 4：当事者の一方が秘密保持義務に違反した ...0
- 5：第三者による開示等で秘密性が失われた ...0
- 6：その他〔具体的に〕 ...0

【問 2-2-4】 問 2-2-3 で「2：ある」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：4社

このような争いが生じた場合において、御社では一般的にどのような対応をとられていますか。また、そのような対応については、あらかじめ契約に盛り込まれていますか。

<対応>

- 1：当事者間の私的な交渉に全面的に委ねる ...2 (50.0%)
- 2：訴訟によって裁判所の判断を仰ぐ ...0
- 3：仲裁機関等を活用して裁判外での紛争処理を図る ...0
- 4：その他〔具体的に〕 ...2 (50.0%)

1または3の方法による(1)、 1・2・3全て(1)

< 契約 >

- 1 : 契約において特段の定めは設けられていない ...0
- 2 : 契約において問題が発生した場合には誠実に協議する等の条項（誠実協議条項）が設けられている ...3（75.0%）
- 3 : 契約において訴訟提起時の手続（裁判管轄、費用負担等）、仲裁機関の指定等を行う条項が設けられている ...4（100.0%）

### 3 外国企業と上記のようなライセンス契約を結ぶ場合の実態についてお伺いします

【問 3-1】 御社においては、外国企業と特許権等あるいは営業秘密・ノウハウ等に関するライセンス契約・クロスライセンス契約を結んでいますか。結んでいる場合は、主な相手企業の国を3つ程度ご記入ください。

- 1：結んでいる ...39 (86.7%)  
2：結んでいない ...5 (11.1%)

<主な相手企業の国>

欧米	アメリカ(34)、ドイツ(9)、イギリス(6)、フランス(4) オランダ(2)、イタリア(1)、デンマーク(1) ヨーロッパ(1)、EU(1) メキシコ(1)
アジア	中国(6)、韓国(5)、台湾(2)、タイ(1)、マレーシア(1) インド(1)

問 3-2~3-5 は、問 3-1 で「1：結んでいる」とお答えになった方にお伺いします

回答対象：39社

【問 3-2】 英語のライセンス契約について、御社の標準契約書フォームを用意していますか。

- 1：用意していない ...26 (66.7%)  
2：用意している ...14 (35.9%)

【問 3-3】 外国企業とのライセンス契約等において、適用法や紛争解決地、決済通貨といった契約条件は、どのようにして決定されるのが一般的ですか。

また、外国企業と契約を結ぶにあたって、特に設けられる条項等があれば、合わせてお教えください。

- 1：原則として日本の法、裁判所、通貨等が用いられる ...5 (12.8%)  
2：原則として相手企業の国の法、裁判所、通貨等が用いられる ...2 (5.1%)  
3：契約ごとに相手企業との交渉で決める ...30 (76.9%)  
4：その他〔具体的に〕 ...3 (7.7%)

ライセンサーの国の通貨・裁判所(2)

クレームをつけた側の反対側が設定した紛争解決地適用(1)

<特に設けられる契約条項>

税金関係(4)、ドル通貨による支払い規定(2)

マーキング条項、独占か否か、最低実施義務、販売地域制限、薬事法対応

韓国と商事仲裁協定、不可抗力、法令遵守、適用法、仲裁方法、完全合意条項

【問 3-4】 契約交渉過程で、準拠法と裁判管轄のどちらか一方をとって他方を譲るとしたら、どちらをとりますか。

- 1：準拠法 ...14 ( 35.9% )
- 2：裁判管轄 ...17 ( 43.6% )
- (その他：ケースバイケース ...6)

【問 3-5】 御社がライセンス契約を結ぶに当たり、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカ等、地域ごとに特に注意を払っていることがあれば、教えてください。

欧米	アメリカ特許権のライセンスはライセンス先全てに公平な契約条件とする。 漏れの無いように 疑義の無いように 守秘条項・輸出管理・準拠法
アジア	監査条項・支払いに関する条項の充実 反故にされる 技術供与の場合、供与条件に規制あり 法的履行力を考慮 法制度が変わっている途上なので注意している 送金の国別規則の有無 法制度や行政機関の指導のため、実際の運用面で知的財産権の権利者に十分な保護が与えられないケースがあることを念頭に、契約で十分な手当をする。(中国など)
途上国	秘密保持条項はあてにしない。
その他・外国全般	最低購入義務、数量、競争制限等 契約終了後のノウハウ禁止規定の削除 独禁法違反規定に該当するか 実施製品の範囲 契約の途中終了時のサバイバル状況 秘密情報の管理が十分かどうか 支払う金額は低く、受け取る金額は高くなるように

#### 4 上記のライセンス契約全般に関する実態についてお伺いします

【問 4-1】 上記のようなライセンス契約を結ぶにあたり、御社において関与している部署はどこですか。複数の部署が契約に関与している場合、それらの部署の役割分担はどのようになされていますか。具体的にご記入ください。

知的財産部（36）、法務部（19）、事業部門・技術部門（17）、その他（4）  
事業部門・技術部門は条件決定や交渉に多く関与、法務部は契約書最終チェック  
知財部は交渉・条件決定場面に関わっている。

【問 4-2】 上記のようなライセンス契約を結ぶにあたり、御社における最終的な決定権者はどなたですか。

- 1：会長（CEO）、社長（COO）等の最高責任者 ...24（53.3%）
- 2：担当役員 ...17（37.8%）
- 3：契約担当箇所の長（役員を除く） ...1（2.2%）
- 4：その他〔具体的に〕 ...9（20.0%）

金額により異なる（5）、職務権限規程による（1）、関係事業本部長（1）

【問 4-3】 御社が上記のようなライセンス契約を結ぶにあたり、実際に交渉に関与される社員の人数（最少～最大）・交渉期間（最短～最長）について、およその数字をご記入ください。

交渉関与人数：最少 1 人～最多 20 人、 交渉期間：最短 1 か月～最長 5 年

【問 4-4】 ここ数年の間に、上記のようなライセンス契約をめぐる状況に何らかの変化が生じていると感じたことはありますか。あれば、その具体的な内容についてもお教えてください。

- 1：ある ...18（40.0%）
- 2：ない ...23（51.1%）

ロイヤリティの高騰（5）、件数増加（2）、係争案件増加（1）  
競争者間でのライセンス契約増加（1）、クロスライセンス増加（1）  
特許権者による権利主張が増加（1）、侵害警告増加（1）  
交渉の長期化（1）、交渉が敵対的に（1）、知的財産関係の記載増加（1）  
技術移転要求の高まり（対中国）（1）、台湾企業の法的責任感の改善（1）  
事業部門へ権限移管（1）

【問 4-5】 自社で特定の製品・技術が開発された場合に、御社ではどのような方針で対処されていますか。もっとも近いと思われる項目を選んでください。

- 1：他社に自由利用させることによって、当該技術の標準化を目指す ...2 (4.4%)
- 2：原則として秘密情報として管理し、自社内で活用する ...3 (6.7%)
- 3：原則として特許等の権利化を図った上で、自社内で活用する ...38 (84.4%)
- 4：他社へのライセンスを積極的に推進し、収益源として活用する ...6 (13.3%)
- 5：その他〔具体的に〕 ...3 (6.7%)

開発のレベルに応じて1・3・4を使い分け(1)  
自社競争力を損なわない限りにおいて他者にもライセンス(1)  
秘密管理するものと積極的にライセンスするものをはっきり分ける(1)

【問 4-6】 業界で共通に使用されている契約書フォーム(ひな型)はありますか。

- 1：ない ...44 (97.8%)
- 2：ある ...1 (2.2%)

【問 4-7】 業界でのライセンス契約に関する紛争が生じた場合、調停機関やそれと同等の第三者はありますか。ある場合は、具体的に教えてください。

- 1：ない ...43 (95.6%)
- 2：ある〔具体的に〕 ...2 (4.4%)

日本知的財産仲裁センター(1)

【問 4-8】 業界の知的財産権担当者が集まって意見交換をする機会がありますか。そのような機会がある場合、具体的にはどのような場ですか。また、頻度はどの程度ですか。

1：ない ...13 (28.9%)

2：ある ...26 (57.8%)

<意見交換の場> 「2：ある」の場合 回答対象：26社

1：業界団体主催の会合等 ...23 (88.5%)

2：関係する会社間で連絡を取り、会合を開く ...7 (26.9%)

3：その他〔具体的に〕 ...1 (3.8%)

知的財産協会 (1)

<頻度> 「2：ある」の場合

1：1か月に1回以上 ...3 (11.5%)

2：2～3か月に1回程度 ...17 (65.4%)

3：半年に1回程度 ...4 (15.4%)

4：1年に1回程度かそれ以下 ...2 (7.7%)